広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話②0091番

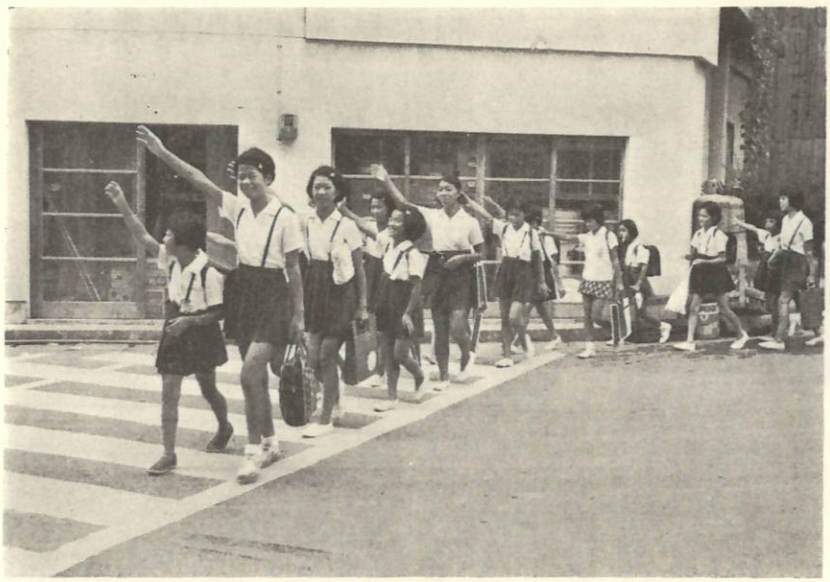
みんなで正しい横断

手をあげて左右を確認

集団登校の時間です。今朝もよい子たちが、なかよく二列に並び横断歩道にさしかかりました。先頭の六年生が、左右を見て安全を確認します。

「運転手さん、わたしたちはいま横断歩道を渡って登校中です。一時停止して全員が横断の終るまでほんの少し待ってネ」と右手をなぜに高々とあげ横断します

二学期もはじまりました。日頃の通学マナーが大切です。みんなで正しい横断を身につけ、交通事故をなくしましょう。



笑顔　毎日こうした笑顔で登校できるよう、町民総ぐるみでかわいい子どもたちを守りましょう。

学制発布100年記念行事

教育の振興誓う

明治五年に「邑(むら)に不学の戸(いえ)なく、家に不学の人なからしめんことを期す」という画期的な学校制度が創設されてから、ことしは満百年にあたります。

そこで伊方町教育委員会、伊方町教育会では、これを記念して九月十三日伊方中学校体育館で学制発布百年式典行事を行ないました。

町内各小中学校の先生方百五人が出席し、まず式典行事では教育長の式辞にはじまり町長、町議会議長、八幡浜教育事務所長、町連合PTA会長の祝辞のあと、表彰にうつり、教員の部、一般の部、教育長の部にわかれ、それぞれ伊方町教育の振興に尽力された功労者に対し町長より感謝状と記念品が贈られました。

つづいての意見発表では「学制百年にあたりふるさとの教育におもう」というテーマで樫尾敦子先生(二見小)、辻フミ子先生(豊之浦小)、小野吉孝先生(伊方中)、木村郁夫教頭先生(町見中)の四人の先生が、これからの伊方町教育について熱弁をふるわれました。

つぎに午後からは、文化行事として伊方小学校児童の鼓笛隊、伊方、町見両中学校生徒によるブラスバンド演奏のほか、体育館内には町内小中学校児童生徒の夏休みの力作である図画、書道展がありました。

最後に体育行事があり、小中学校の先生方によるバレーボール大会が行なわれ伊方中チーム、町見中チーム、伊方小、水ケ浦小、有寿来小連合チーム、九町小、豊之浦小、二見小連合チームが出場し九町小、豊之浦小、二見小連合チームが優勝しました。

なお、式典でつぎの方々が町長の感謝状を受けました。

□教員の部
青木松之助・倉男＝小中浦
樫尾シン・敦子＝加周
林瑞穂・文枝＝加周
三浦芳光・芳朗＝湊浦
親子二代一筋の道を教育に求められ、情熱と使命感をもって長く本町教育の振興に貢献された。

□一般の部
佐々木愛郷会
大正三年に設立され、その育英事業としての私立伊方実践農業学校の教育は、ふるさとづくりの中核として土を愛する優秀な青少年の育成をめざし五十三年の長きにわたり、地域に密着した経営がなされ本町教育振興に尽力された。

辻　賢二＝豊之浦
町村合併後伊方町PTA連合会結成に努力されるとともに、会長として町見中学校PTA会長として常に先頭に立ってPTA活動を強化推進された。

□教育長の部
阿部澄夫＝松山市在住
町村合併後の初代教育長として教育委員会制度改正後の困難な教育行政に誠心誠意努力され本町教育振興に貢献された。

井桜政勇＝古屋敷
教育の量的向上期といわれた六十年代の教育長として八年間にわたる学校教育の充実発展と伊方町誌の完成に尽された。

国民年金

ご存知ですか追納制度

追納で満額年金を

町内のみなさん、みなさん方の中で国民年金保険料の免除を受けておられる方がありましたら、特に注意してください。

国民年金は、他の年金制度に加入していない人を対象にしていますから、なかには職のない人や、病気で働けない人など、保険料を納めるのが苦しい人も含まれています。

そこで国民年金では、他の制度にはみられないことですが、こうした人たちについては、保険料を免除する措置を講じています。

しかし、免除された期間の年金額は、普通に保険料を納めた人の三分の一にへります。

たとえば、現在受給されている拠出制の老令年金は、十年間で二万五千八百円納めて六万円の年金が支給されていますが、全期間免除の方は二万円の年金しか受けられません。これが終生ですから、受けとる金額はたいへんな開きになります。

そこで国民年金では、免除された期間の保険料は、あとで経済的に余ゆうのできたとき納めることができる仕組みになっており、これを追納といいます。

追納できる期間は過去十年間までのもので、それ以前については追納できません。

この追納する金額は、たとえば昭和四十年度に免除を受けていた方で、新しく職につかれた方など、経済的に余ゆうのできた方は追納されて満額の年金をお受けになるようおすすめします。

追納制度について、わからないことがありましたら、役場国民年金係におたずねください。

へき地診療活動

八幡浜ライオンズクラブ

八幡浜ライオンズ、八幡浜ロータリ両クラブのへき地診療が八月二十六日午後から有寿来小学校で行なわれました。

これは、両クラブが仲よくへき地の医療施設のない地区の人たちを対象に健康診断をかってでて実施されたものです。

当日は両クラブから医師、看護婦、関係者総員四十六人が来町され伊方越、亀浦両地区の人たち百二十二人が受診しました。

診療はレントゲン検査、検尿、血圧、心電図、内科、外科、眼科、歯科、婦人科にわかれそれぞれの科で診断と適切な指導を受け、同三十五歳未満の方ならば一カ月につき百円というように、その当時の保険料額です。

なお、国民年金は六十五歳から年金の受給権が発生しますから、それまでに追納しなければならないことになっています。

いままでに免除を受けておられた方で、新しく職につかれた方など、経済的に余ゆうのできた方は追納されて満額の年金をお受けになるようおすすめします。

追納制度について、わからないことがありましたら、役場国民年金係におたずねください。

ロータリクラブの社会奉仕活動に対し、両地区の人たちは感激し、感謝していました。

有寿来小学校の各教室は、即席診断室にはやがわりし、おじいちゃん、おばあちゃんから子どもたちまで、みんな神妙な顔つきで受診！

伊方越のあるおばあちゃんは、「血圧が高いのではないかと心配してきて見てもらったが、そうでもなくひと安心しました。ワイ。わざわざ、うしたへんぴ(へき地)まできてもらい、ありがたいことですらい……」と笑顔で元気な声がはねかってきました。

両クラブのこの善意の診療活動に紙上より深謝申し上げます。

血圧は正常ですか？

カーブミラー六基

伊方支部が設置

八幡浜交通安全協会伊方支部(菊池彦光支部長)では、交通事故防止のためカーブミラー六基を購入し、設置しました。国道と町道の見通しの悪いカーブ地点に直径八十センチメートルものを設置したものです。

また、町でも六基購入し、伊方地区三基、町見地区三基をそれぞれ町道に配置し、ことしの場合町内で十二基も設置しました。これでカーブの見とおしもよくなり事故防止に役立つことができます。

本町のカーブミラー設置は、いままで国道に多く設置されてきましたが、こんごは自動車の増加で交通量が多くなるのと同時に、道路舗装が進み、スピードのだしすぎが目立ち、事故多発の傾向にある。町道への導入を急ぐ必要があります。

免許一年未満のドライバー

"初心者マーク"が必要

十月一日から道路交通法が一部改正され、免許を取って一年未満のドライバーは車の前後に「初心者マーク」をつけなければ運転できなくなります。

このマークは"初心者らしさ"を出そうと黄と緑の双葉を図案化し、まわりを黒でフチどっており、たて十八、五センチ、横十一、六センチで夜でもよく見えるよう反射塗料がつけられています。

初心者の交通事故はベテランの五倍以上。この初心者マークを無視して割込み運転などすると三万円以下の罰金が必要です。

また、初心者なのにこのマークをつけないで運転していると二千円の反則金を納めなければなりません。(初心者マークは駐在所にあります)

目で見る一日町政教室

町づくりを再認識

明るく住みよい町づくりをめざしている町では町民のしあわせを願い、年々各種の施設を整備していますが、実際にはこうした多くの施設が町民のみなさんに接する機会が少ないようです。

そこで、多くの人に町内施設を目で見、肌で感じていただくと同時に町政に対する理解を深めてもらおうと、広聴活動の一つにとはじめてのこころみで〝目で見る一日町政教室〟を開催しました。

八月二十四日町見婦人会役員十八人、二十九日伊方婦人会役員二十三人計四十二人が参加しました。

おおとりバスに乗りつぎのコースをまわり町づくりを再認識しました。

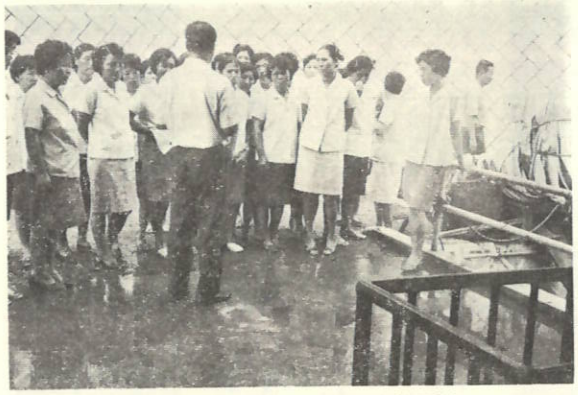
見学コース

給食センター内見学＝町道湊浦、伊方越線舗装状況＝堂々山公園からの眺望＝伊方越港まで開通した臨港線道路＝改築なった有寿来小＝伊方火葬場＝町内美化の立役者ゴミ焼却場＝改築なった豊之浦小＝鉄筋三階建に生まれかわる町見中＝開発待つ加周海水浴場、亀ケ池＝町道四十二号線舗装状況＝平石峠公園からの遠望＝原電建設準備工事進む九町越＝役場前＝記念撮影＝庁舎案内、議場案内＝町理事者を囲み座談会。

また、見学を終えてからアンケート調査を行ないましたが、調査結果は別欄に掲載しています。

長年町内に住みながら、はじめて見る施設、場所がほとんどのようで「たいへん勉強になった。町政を知り理解するうえからもこうした教室はどしどし開設し、一人でも多く参加できるようにしては……」の声が大でなかなかの好評でした。

初のこころみで開いた町政教室に参加しての感想を、四人の役員さんにそれぞれつづってもらいましたので紹介します。



ゴミ焼却場の設明を熱心に耳かたむけるお母さん

アンケート調査結果

一、参加されてみて、どのようにお感じになりましたか。

①たいへんよかった　三十九人
②普通であった　二人
③あまりよくなかった　〇人
④行ったことがなかった　二十一人

二、所要時間はどうでしたか。

①長すぎる　一人
②ちょうどよい　四十人
③短かすぎる　〇人

三、見学施設の数はどうでしたか。

①多すぎる　〇人
②ちょうどよい　四十人
③少なすぎる　〇人
無回答　一人

四、見学された施設の中で他の人たちにも見学させたいと思われるものを二つだけお書きください。

一位＝原電建設工事現場の九町越　三十人
二位＝学校施設　二十人
三位＝ゴミ処理施設　五人
〃　給食センター　五人

五、見学された施設のうちいままで何カ所行かれたことがありますか。

①一カ所　十人
②二カ所　七人
③三カ所　三人

六、施設を見学されて、とくに参考になったのは、つぎのどの点でしたか。

①どういう施設の存在を知ってよかった　三十一人
②仕事の内容がよく理解できた　十五人
③その他　〇人

七、見学された施設で、とくに力を入れてほしいと思われることはどんなことですか。

①施設の建設や設備の改善　十一人
②施設の存在や仕事の内容をもっと広く知らせる　十三人
③施設と町民との接触を深める　二十三人

八、参加されたご感想、ご意見を簡単にお書きください。

◎伊方町に生まれながらはじめて見る各施設を見学でき、たいへんよい勉強になった。
◎躍進しつつある伊方町の姿をうれしく思った。
◎町が行なった行事を目で見、肌で感じ町政の内容が理解できた。
◎町民として、伊方町の発展に対して無関心であった。
◎こんどもこうした町政教室を開き、多くの人に参加してもらいたいと思います。
◎町政の運営に対し、もっと知識の必要性を感じた。
◎はじめての施設見学で興味もあり楽しみでしたが、思っていた以上の何かがあったようでうれしかった。このような行事はいつまでも続け、他のみなさんにもより広く知ってもらいたい。
◎原子力発電所建設九町越を他の人たちにも見学させてあげたい、事業の大きさに感動した。
◎給食センター、ゴミ処理場が整備され気持がよかった。
◎町民の立場にたった町政運営を。
◎各種教育に力を入れてほしい。
◎汚染公害のない明るい住みよい伊方町を保ってほしい。
◎和の町政を望む。
◎もっと町民との接触を深め一人でも多くの人に施設や町政の内容を知ってもらうようつとめてほしい。
◎へき地の住民が便利になるよう努力してください。
◎町道、農道舗装を積極的に。
◎伊方地区、町見地区、区別のない開発に努めてほしい。
◎役場横の汚染大川を魚の住める川にもどしてほしい。

九、明るく住みよい町づくりをすすめている山本町長に、特に何を望みますか、簡単にお書きください。

地　出船入船ヤレホンニサ室の松と……コースの道中役場職員の好調なガイドぶりにファッと歓声があがる。どの施設へ行ってみても数年来、町の発展ぶりのめざましさをこの目で見、肌で感じることができました。

有寿来小、豊之浦小はいずれも新しい鉄筋校舎、特に豊之浦小の設備の立派さに感心する。

ゴミ処理場の施設見学、本当に主婦として助かる、ご苦労さんで思います。

原電建設準備工事現場（九町越）で説明を聞く

町政教室に参加して

もっと町政に関心を

伊方婦人会長　篠沢タケ子

八月二十九日待望の「目で見る一日町政教室」に参加した。

八時三十分役場前集合、朝のあいさつ明るい笑顔で……

おおとりバスには、目で見る町政教室の車体幕が張られている。

出発前の役場係員、助役さんのあいさつのあと、一路給食センターへ。つぎつぎに予定のコースを見学、左右にゆられながらバスは快適に走る。

つい在りし日のかえ歌を口ずさむ（波浮の港）

真砂姫砂ささやく女波　沖の島の夢見る心残暑のきびしい

待望の原電建設地へ一行二十三人、ちょっとこわい感じもあったが案内室で説明を受けホット一安心した。

保安帽をかぶり、工事現場へと走る。あまりに大きな準備工事に驚く、これが完成するとどんなになるのか、想像もつかないまま庁舎に帰る。

庁舎内の説明後、理事者を囲んでの座談会では、各支部より学校施設の整備、原電の安全性、その他いろいろな要望事項に対し、町長さん、助役さん、教育長さんのたのもしい答弁があり、本当に楽しい、そしてさわやかな実のある一日でした。

わたしたちも町政に対し、もっともっと関心を深めることが大切であると痛感しました。

こうした行事はすでく魅力を感じます。できるだけ多く開催し、町民のみなさん一人でも多くの人が参加できるようにしてほしいと思います。

「バス」で町を理解

町見婦人会長　吉田シヨ

豊かで住みよい町づくりをめざす町では、町内の各施設を多くの人たちに紹介するため「目で見る一日町政教室」が開催され、その行事にトップをきって町見婦人会役員が八月二十四日研修を行ないました。

町のおおとりバスに乗込み、平石公園をふりだしに町内十二カ所の施設を見学。

時間的にもう少しゆとりを持って見学したい場所もありましたが、こうしたことは早急に解決したいものです。

立派な学校施設の見学

伸びる「町」に誇り

伊方婦人会会計　松下イトエ

八月二十九日「目で見る一日町政教室」に出席して、自分自身の目で町の発展ぶりを確かめ、なるほどと感動しました。

小学生の子どもを持つ母親としてのわたしは、やはり学校の訪問が一番身近なものとして頭に残っています。

特に豊之浦小学校が立派な建物に生まれ変っており、視聴覚教材やその他の諸設備の充実していることなどを見学し、これならさぞや優秀な知識を持った児童が生まれることであろうと思いました。

伊方小学校も早く、このような設備の充実をはかっていただくよう希望するものです。

また、町民としていろいろな立場で賛否を受けている原子力発電は、やはり学校の訪問が一番身近

お年よりにしあわせを

長生きする町「伊方」

きようは敬老会、会場は楽しい会話がいっぱい

九月一五日は「敬老の日」。十五日から一週間は、老人福祉週間でした。

日本人の平均寿命は、また伸び男七〇・二歳、女七五・六歳と先進国の間仲入り、寿命がのびるということは、たいへんすばらしいことです。

しかし、経済的にも精神的にも恵まれないお年よりが多いことを忘れてはいけません。

お年よりは現在の伊方町発展の基をなした人たちです。

お年よりのしあわせをみんなで考え、身近なところにあたたかい目を向けてあげましょう。

お年よりが ふえる

伊方町の老年人口（六十五歳以上）は、四月一日現在の調査では一千百六十八人（男五百六人、女六百六十二人）で、これは町の人口の十二・七%にあたります。

お年よりの占める割合は、全国平均より約五%も高く〝お年よりの町〟〝長生きする町〟または町全体のうち若年層の都市への流失によって、仕員（ホームヘルパー）＝川永田門田キミカさん＝がおり、一週間に八世帯の各家庭を一回づつ訪問して身のまわりのお世話をしています。

町では、寝たきりで身よりのないお年よりのお世話をする家庭奉仕員（ホームヘルパー）＝川永田門田キミカさん＝がおり、一週間に八世帯の各家庭を一回づつ訪問して身のまわりのお世話をしています。

長寿祝金や 医療費の助成

長寿祝金の支給＝昨年まで八十五歳以上のお年よりに三千円支給していましたが、ことしから八十歳以上とし、町内二百人（昨年の約三倍）のお年よりに支給しようとなりました。

老人医療費無料＝現在七十五歳以上のお年よりは医療費は無料ですが、四十八年一月からは七十歳以上に引き下げられ無料になります。このほか、所得保障制度として国民年金の老令年金、老令福祉年金などがあります。

独居老人の お世話

独居老人は、全国的にふえており、この対策に〝愛のベル〟の設置などが行なわれていますが、町内では百三十人います。

また、ねたきり老人が八十三人もいます。

小中浦の辻カヨさん（左端）は町内第二位の長寿者で九十四歳敬老会にも、ごらんのような元気な姿で出席しました。

特殊寝台を貸与

町では、特殊寝台を四十五年に八台、四十六年に十台、計十八台を購入し無料で貸与しています。

もし、ベット借用を希望される方は、役場民生課までご連絡ください。

町内一の長寿は 三好さん

ことしもお年より番付をつくってみました。

これをみますと、町内の最高長寿は三好イセさん（湊浦）が九十五歳で、西方（女）の横綱、東方（男）の横綱は辻政市さん（豊之浦）の九十二歳。

部落別にみますと、川永田の八人がトップで、つづいて豊之浦の六人、ついで大浜、河内、湊浦、小中浦とつづいており、川永田が一番の長寿部落といえることになります。

また、この番付表は紙面の都合で男八十四歳、女八十九歳までの三十九人にしましたが、このうち伊方地区三十一人（八十名）、町見地区八人（二十名）で断然伊方地区に長寿者が多い数字をしめしています。現代社会の基礎づくりに、はげまれたお年よりがこんども健康に十分気をつけられ、長生きされることをお祈りします。

お年より番付

◀いつまでもお元気で▶

勧進元 伊方町

（昭和47年9月15日現在 満年令）

東方（男） 位置	氏名	年令	住所	西方（女） 位置	氏名	年令	住所
		歳				歳	
横綱	辻 政市	92	豊之浦	横綱	三好 イセ	95	湊浦
大関	葛城 象栄	90	中之浜	大関	辻 カヨ	94	小中浦
関脇	中田 仙松	88	豊之浦	関脇	木戸 マヨ	93	河内
小結	佐々木秀吉	87	古屋敷	小結	宇都宮ヤイ	92	川永田
前頭2	林 勝太郎	87	仁田之浜	前頭2	篠上ワケ	92	〃 内浜
〃3	岩井 鹿市	86	小中浦	〃3	宮田キンカヨ	91	河内
〃4	高月海三郎	86	川永 〃	〃4	松田ゲミ	91	仁田之浜
〃5	大星 政一	86	〃	〃5	三根生トラ	90	須賀
〃6	河野助右エ門	85	豊之浦	〃6	菊池セツ	90	川永田
〃7	足利 時繁	85	中中浦	〃7	岡田モヤ	90	〃 浜
〃8	山本萬一郎	85	小二浦	〃8	米井カキ	89	大
〃9	川口 富吉	85	見	〃9	新口ナ	89	豊之浦
〃10	田中 大吉	85	湊浦	〃10	大沢ミヤ	89	内賀
〃11	浜野喜惣治	84	川永田	〃11	大口セノ	89	河須
〃12	大黒 義晴	84	大畑	〃12	山竹セヨ	89	奥
〃13	脇田愛之助	84	豊之浦	〃13	井上ナ	89	豊之浦
〃14	河野幸之助	84	湊浦	〃14	本内イ	89	越田
〃15	兵頭 勇	84	田之浦	〃15	宮川ソ	89	伊方
〃16	古田 源	84		〃16	神野マ	89	川永田
					田縁モ	89	

▷ 男子は84歳・女子は89歳までにしました。

〝老人医療費〟の請求方法かわる

老人医療費の請求助成金交付申請書（病院の証明書）と印鑑を町へ提出して請求せねばなりません。

老人医療費給付 資格者証をもらつて いない方は手続きを！

満七十五歳以上になられた方（明治三十年以前に生まれた方で誕生日がきている人）で、老人医療費給付資格者の交付を受けていない方は、病院で治療を受けることができません。

もし忘れている方は、いますぐ町で保険証と認印を持参して交付申請をしてください。

（すでに資格のある方には、申請をされた月の初日から認定し、受診者のかわりに医療費を町に請求してくれますので、いままでのように病院の窓口へ治療費を支払う必要はなくなりました。

保険のきかない治療費のみ窓口へ払えばよくなりました。

ただし、いままでどおり町へ医療費を請求せねばならない人は、つぎの保険の方たちです。

①組合管掌保険、②企業体職員共済組合保険、③国家、地方両公務員職員共済組合保険

付加給付のある被扶養者は、治療を受けた日の翌日の十日から月末までに老人医療費助成交付申請書（病院の証明書）と印鑑を町へ提出して請求せねばなりません。

老人医療費給付 資格者証をもらつて いない方は手続きを！

満七十五歳以上になられた方（明治三十年以前に生まれた方で誕生日がきている人）で、老人医療費給付資格者の交付を受けていない方は、病院で治療を受けることができません。

もし忘れている方は、いますぐ町で保険証と認印を持参して交付申請をしてください。

（すでに資格のある方には、申請をされた月の初日から認定し、受診者のかわりに医療費を町に請求してくれますので、いままでのように病院の窓口へ治療費を支払う必要はなくなりました。

保険のきかない治療費のみ窓口へ払えばよくなりました。

ただし、いままでどおり町へ医療費を請求せねばならない人は、つぎの保険の方たちです。

①組合管掌保険、②企業体職員共済組合保険、③国家、地方両公務員職員共済組合保険

付加給付のある被扶養者は、治療を受けた日の翌日の十日から月

病院（歯科医は除く）で 受診する場合は

①国民健康保険、②政府管掌健康保険、③日雇健康保険、④船員保険の加入者が八幡浜市や西宇和郡内の病院で受診されるときは、老人医療費給付資格者証と保険証印鑑の三つを病院の窓口にだせば受診者のかわりに医療費を町に請求してくれますので、いままでのように病院の窓口へ治療費を支払う必要はなくなりました。

保険のきかない治療費のみ窓口へ払えばよくなりました。

ただし、いままでどおり町へ医療費を請求せねばならない人は、つぎの保険の方たちです。

①組合管掌保険、②企業体職員共済組合保険、③国家、地方両公務員職員共済組合保険

付加給付のある被扶養者は、治療を受けた日の翌日の十日から月

＝米寿（八十八歳）＝

ことし米寿（八十八歳）を迎えた方は、つぎのとおりです。

県知事より木盃、町長から赤い座布団とお祝状を記念に贈りました。

林 勝太郎（仁田之浜）
渡辺 ユト（河内）
渡辺 セツ（小中浦）
岩井 鹿市（小中浦）
中田 シカ（豊之浦）
小林サカエ（加周）
樫尾 シン（加周）
佐々木秀吉（古屋敷）
久保 トリ（大成）

九十七歳の天寿を全う 小中浦の大通さん

町内一の長寿者であった小中浦の大通カツさん（九十七歳）が亡くなられました。

大通カツさんは明治八年七月十八日生まれでした。

チョンマゲ時代から人類の月征服までの明治、大正、昭和と約一世紀にわたり生きぬかれ八月十五日眠るような大往生でした。

また、カツさんの葬儀の香典返しとして、大通健三郎氏（カツさん三男）より町の更生年金へ一万円寄付されました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、亡き御霊の安眠をお祈り申し上げます。

福祉年金が大巾アップ

昭和三十四年十一月に福祉年金ができてから十三年になります。

最近は、住民福祉優先の考え方のもとに、老令者をはじめ身心障害者、母子家庭等に対する福祉の充実が一段と強く求められるようになりました。

とくに人口の老令化、扶養意識の変化などを背景に老後の生活に占める年金の役割は、ますます重要性を増してきています。このようなことから、今年度は過去に例をみないほどの大幅な改善充実がはかられました。

年金額の引上げ

（昭和四十七年十月から）

つぎの年金が十月からそれぞれ引上げられます。

老令福祉年金
27,600円 ⟶ 39,600円
(2,300円) (3,300円)

障害福祉年金
40,800円 ⟶ 60,000円
(3,400円) (5,000円)

母子準母子福祉年金
34,800円 ⟶ 51,600円
(2,900円) (4,300円)

（ ）内の数字は月額

住みつく町づくりに期待

町見婦人会 企画委員 山下マサコ

「目で見る一日町政教室」に案内をいただき出席した。

出席しての感想を思うがままにペンを走らせて見ましょう。

おおとりバスに乗り、まず平石峠にと車は出発。

平石峠へ行く道中の町道四十二号線は全部 舗装され快適なドライブ？

平石峠に到着—峠からの遠望は美しく、眼下に亀ケ池と宇和海に浮ぶ島々は、何ともロや言葉では表現できない自然の見事な姿をながめることができ、伊方町にもこうした景観地のあることを再認識しました。

またゴミ処理施設見学では、ゴミを焼却する人や収集者の苦労がよくわかりました。

「町を美しくしよう」の運動をこんごはさらに強力に推進し紙クズ一つでも自分の手で始末をし、町内美化は主婦の手とつくづく感じました。

給食センターの施設見学で思ったことは、日頃子どもたちの健康と発育によく気をくばっていただいているようすが拝見できたことです。

曲りくねった町道をバスにゆられ堂々山公園へ、伊方町の最高峰にある同公園の展望は雄大である。段々畑のミカン園が広がり、秋にはあざやかな黄金色につつまれることでしょう。

生まれ変わる九町越／この言葉がぴったりの九町越は昔の面影はどこへやら、高い山は低くなり、深い海は埋立られ、機械の威力をまざまざと見せつけられたような気がしました。

有寿来小学校も都会の学校に負けぬくらいの建物になっている。

発展して行く伊方町がこんど、都会にでている若者が、なぜ都会にあこがれたのだろうかと、残念がるような〝住みつく町づくり〟に開発されて行くことを期待します。

こうした各施設をより多くの方々に見せてあげたい気持です。

本当に楽しい一日でした。

オリエンテーリング

一級指導員に増田君

役場の増田愛明君（川永田）が日本オリエンテーリング委員会の一級指導員として公認されました。県下で三人のうちの一人に選ばれ公認登録されたものです。

オリエンテーリングは北欧の国スエーデン生まれのスポーツで地図とコンパスをたよりに決められた地点をさがしあてる競技です。

一級指導員となった増田君は、「いままで二度オリエンテーリングの講習会に参加して指導員になりました。愛媛県は後進県でありまた一般的なものになっていません。このスポーツを体験してもらえれば、そのおもしろ味がよくわかろうかと思います。町内でも二三のコースを考えて試走していますので、こんど講習会等を開き普及につとめたい」と語っていました。

オリエンテーリングとは

オリエンテーリングとは「方向を定めて走る」スポーツです。

競技方法は「主催者が示した方法で、主催者が示した地点を地図とコンパスをたよりにさがしあて短時間でコースをまわりゴールインする」のです。

いろいろな形式、方法があり、方法によってはレクリエーションのゲームから、競技スポーツまで幅広くできます。

消防操法競技大会 第十三分団が 初優勝

伊方町消防団（吉川治吉団長）では、昭和四十七年度消防操法競技大会を八月二十七日伊方中学校グランドで開催しました。

この大会は、実戦に即した規律ある消防技術をみがき、団体行動をより敏速、適正にするため行なわれたものです。

大会は操法の所要時間、操作の要領や動作を選手一人に二人の審査員が審査にあたり中立厳正な採点の結果、練習量も豊富で五人の呼吸がピッタリ合った第十三分団（向）が初優勝の栄に輝き、大会長（町長）より優勝旗が授与されました。

本年の場合、どのチームも技術向上がめざましく実力伯仲が目立ち、伊方町消防団の心意気を見ることができたことは、たいへんよろこばしいことです。

また、昨年購入した消防車（ワフト吸管）班が、初の操作を披露すると同時に大浜、仁田之浜両女子火防隊も男性顔負けの雄姿で大活躍／異色の存在として大会に花をそえテキパキとした態度は衆目に好感を与えました。

大会成績はつぎのとおりです。

優勝　第十三分団（向）
二位　第十五分団（九町西）
三位　第六分団（小中浦）
四位　第十四分団（九町東）
五位　第七分団（中浦）

八西大会で優勝の栄に輝いた第5分団

八西消防操法大会

第五分団優勝（自動車大吸管）
第十五分団準優勝（可搬大吸管）

八幡浜、西宇和消防団連合会主催の消防操法競技大会は、九月五日三瓶町伊予新積グランドで開催されました。

本町からは消防自動車ソフト吸管部門＝町見消防自動車班、大吸管部門＝第五分団（浜浦）、可搬動力ポンプソフト吸管部門＝第十三分団（向）、大吸管部門＝第十五分団（九町西）の四種目に出場しました。

その結果、消防自動車大吸管部門で第五分団が優勝、可搬動力ポンプ大吸管部門で準優勝の好成績をあげました。

このことは日頃の訓練（第五分団では一カ月に一回訓練を実施）が実を結び好成績となってあらわれたものです。

こんで、各分団ますますの精進を祈ります。

短かい方がよい？

年のころは十九かはたちのミニスカートのよく似合う浜さんがさわやかな秋風にのって歩いていた。

彼女のミニスカートの下の、すくすく伸びた足がある家の前でピッタリ止んだ。お人形さんのような、かわいい顔をこわばらせてワン君がワンワンほえていたのだ。

当家の若ダンナのガールフレンドだとも知らずに。

もし、ワン君が彼女にかみついたら、若ダンナと彼女は絶交かもしれない？

いたづらっ気多いワン君に、仲をさかれてはたまらない。

そこで、スカートと天のクサリは、短かければ短かいほどよい。

彼女は、ほっとひと安心。彼氏はニタニタ……。

ワン公は、必ずクサリでつないで飼いましょう。

ちびっ子紹介 (5)

渡辺耕三ちゃん（仁田之浜）

渡辺耕三ちゃん（仁田之浜＝エ　現在、伊方保育所へ元気に通園しイコさん二男）は、三歳四カ月でています。

以下は同保育所保母さんの記。

「ゴメンなさいよ、ニッコリ笑って、ハイパチリ、どうですこの笑顔。四月入園当時は顔中シチャシチャにして泣くばかりの耕三君でしたが、今では、こんなに明るい笑顔が見えるようになりました。

ことしの五月、お父さんが病気で亡くなられましたが、耕三君はこんなに元気にお友達と仲よく遊んでいます。ご安心ください」

早期発見・治療を 結核集団検診

月日	部落名	場所	時間
10月25日（月）	大浜、中浜、之浜、仁田之浜	公民館前 道路 公民館前	9.00～11.30 13.00～14.00 14.30～16.50
10月24日（火）	農中、小中浦、中浦	農協前 公民館前 〃	8.30～11.50 13.30～15.00 15.10～16.40
10月25日（水）	川内、河内、伊方越、亀浦	公民館前 〃 有寿来小学校	9.00～11.50 13.00～14.50 15.00～16.50
10月26日（木）	田之浦、加屋、古江	道路 二見小学校 道路	9.00～10.30 10.40～11.40 13.00～14.00 14.10～14.30
10月27日（金）	奥向、浦、豊	公民館前 〃 中道路	9.00～10.20 10.30～12.00 13.00～16.00
10月28日（土）	畑、須賀、久保、西	町見支所	9.00～11.30

電話上手が あなたを生かす

情報化の時代といわれている今日、電話の必要性は毎日の生活において、含りはなせないものとなっています。しかし、電話の正しい利用方法についての現状はどうでしょうか。

ながながしをしている間に重要な電話があなたを待っているかも知れません。

〃通話はかんたん明瞭に〃

現代人として、正しい電話の利用法の「エチケット」を身につけたいものです。

〃かける前番号確認〃

〃メモ用意〃

＝お　礼＝

大阪府守口市東光町三の二十五にお住いの竹内藤雄氏（豊之浦出身）より一万円。

北九州市若松区西畑九丁目にお住いの宮脇栄左エ門氏（川永田出身）より三千円。

大阪市旭区赤川町三丁目五二九にお住いの善家礼子さん（川永田出身）より二千円。

島根県出雲市上塩冶町半分にお住いの清家佐治右エ門氏（亀浦出身）より二千円。

大阪府摂津市正雀本町二の十の十四にお住いの上田熊雄氏（九町出身）より千円。

福岡市清水町三丁目二十三の十二にお住いの西野守正氏（中浦出身）より二千円。

岡山県笠岡市生新一〇〇五にお住いの北村治子さん（中浦出身）より二千円。

尼崎市三反田町二丁目十の六にお住いの宮藤次雄氏（大浜出身）より二千円。

それぞれ報編集の費用にとご寄付いただきました。

紙上より厚くお礼申上げますとともに、ご健康と元躍をお祈り申し上げます。

人

昭和47年8月末現在
世帯数　2,475戸（＋4戸）

人口　9,250人（男4,408人（＋13人））（＋18人）（女4,842人（＋5人））

7月分

えんむすび
昭和47年7月1日
7月31日

おくやみ
昭和47年7月1日
7月31日

お誕生 おめでとう
昭和47年7月1日
7月31日

8月分

えんむすび
昭和47年8月1日
8月31日

おくやみ
昭和47年8月1日
8月31日

お誕生 おめでとう
昭和47年8月1日
8月31日

編集後記

秋の日射しが白ぼく見えて来て目にしみるようですが、これからは朝冷え、夕寒、秋雨といった寒を関さす生活に向います。

十日号ごとにお届けします。今月号はトップに二学期もはじまり、子どもたちの登校風景をクロスアップしてみました。みんなで交通事故ゼロをめざしましょう。

また、初のこころみであった「目で見る一日町政教室」なかなかの好評でした。参加よびかけがあった場合、あなたも是非どうぞ、町行政を知るチャンスです。

例年行なわれています敬老行事も、ことしも町内各地区で盛大に実施され一日老人天国でした。しかし、一日老人天国ではなく各家庭では「老人と会話のある家庭づくり」を基本理念にした毎日をすごすことが何より／

ことしもお年より番付をつくってみました。町内の性別最高齢者は、女性の場合九十五歳、男性の場合は九十二歳です。また、お年よりの数が町総人口の十二・七％にあたり、老令化または長生きの町を物語っています。（YO）